

CLOSE UP!



地域貢献できる優秀な医師を地元から! 力を入れています、 『卒後臨床研修センター(医)』

～卒後臨床研修センターとは～

医師は、医師免許取得後の2年間、医師としての人格や診療能力を身につけるために臨床研修を行うことが義務付けられています。内科、外科、救急、産婦人科、小児科、精神科など様々な科での研修を行い、その後、専門医となるためにトレーニングを積んでいます。卒後臨床研修センターでは、研修医や臨床研修にかかわる業務を行っています。

●卒業後の状況、これまでは・・・。

以前は、医学部6年間で卒業し医師免許を取得すると、すぐに自分の専門科を決めて働き始めていました。ところが、専門性に偏りすぎていることの弊害が問題視され、総合的に幅広い知識や技術を習得し、より深い医療を展開することの必要性が問われだし、2004年から臨床研修制度が始まりました。この制度も良いところだけではなく、問題点の見直しが行われ、来年度から改正される予定です。本院では、2年間で様々な診療科での研修を行い、医師としての人格を育て、より幅広く適応できる力をつけることができます。

●新体制のセンター、日々、 研修環境の改善に取り組んでいます。

卒後臨床研修センターは、2008年4月より、センター長に谷憲治教授が就任し、専任のスタッフも2名常駐するようになりました。これにより、研修医とより身近に接することが可能となり、研修医も様々な相談ができるようになりました。当センターでは、研修医の要望を聞き入れ、充実した研修プログラムを作成し、指導医との連携、研修環境から健康管理に至るあらゆる支援を、今まで以上に細やかに行えるように尽力しています。

■問い合わせ 卒後臨床研修センター(医)
Tel.088-633-9359, 088-633-9976

「研修医の皆さんが、良い研修を受け、よかったと思ってもらえることが次につながっていくと思います。そういう充実した環境作りに努めていきます」



◀センター長
谷憲治 教授

「研修医の先生が、心身ともに楽しい研修生活を送れるように、サポートいたします。将来、自分の老後も任せられる医師に育てていただきたいです。」



◀副センター長
西京子 専任講師

「職種にかかわらず病院全体で研修医を育てるチームワークのよい病院になっていければ、と願っています。」



◀センター委員
山本恭代 専任助教

●研修医と地域の皆様との関わりも、より良いものに。

徳島県内には8つの研修病院があり、研修医たちはそこで研修を行いながら、医師として成長していきます。研修医としての2年間は、医師としてスタートしたばかりで、未熟なことも多いのですが、懸命に努力しています。至らない部分もありますが、地域の皆様には、どうぞ温かく彼らを見守り、育てていただければ、と願っております。多忙な専門医に比べ、研修医だからこそ、患者さんとの距離も近く「心ある診療をしてもらえた」という声も届いています。